



発行：  
山古志木籠ふるさと会  
会長：松井 治二  
発行年月日：  
平成24年12月10日

# 木籠ふるさと便り

### ごあいさつ

暑い暑い夏も過ぎ、師走の時となりました。お盆、稲刈り、さまざまの行事に大勢の方が参加して頂きました。こうして無事に今年を終える事が出来るのも、多くの方の支援があったからだろうと心から感じ、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。



「水汲家屋を見守る集い」にも1000人を超える方々のご賛同

を頂きました。震災の記憶を皆様に伝えて、これからの未来に少しでも役立てていけたらと思います。福島県へみんなで作った応援米を届けたり、「天の風、浜街道」号をお披露目して、被災者の方に喜んでもらえる活動ができました。ふるさと会をより一層発展させ、多くの方と喜びを分かち合い、人との絆を大切にして行きたいと思っております。

今年も一年間お疲れ様でした。どうぞ来年も宜しくお願い申し上げます。皆様にとって、素晴らしい一年でありますようにお祈り申し上げます。

木籠ふるさと会会長 松井 治二



## 稲刈り、はざがけ ～雨にも負けずお疲れ様でした～

### 雨の中の稲刈り ～雨合羽と長靴でがんばった！～



9月23日、今年の稲刈りはあいにくの雨ふり。でも、やっぱりこの日はふるさと会一番の楽しみです。自分で植えた稲を自分の手で収穫する日。雨の中、各々フル装備で駆けつけました。

ぬかるみの中、足を取られ、いつもの倍は苦労します。そんなとき「刈った稲株の上を歩けばいいよ」とプロのアドバイスに助けられ、冬場のソリも活躍し、作業は着々と進みます。そして、何より収穫のうれしさは、雨にも負けず、私たちが自然と笑顔にしてくれました。

【雨も忘れる収穫の喜び、笑顔、笑顔】



【稲を束ねる、これが出来れば一人前！】



【ぬかるみでは、冬場のソリが大活躍】



## 稲を乾かすはざかけ ～お日様どうかお願いします～



さて、刈り取った稲は軽トラックに積んで、はざかけ場へ直行！そこで稲をおろして、はざに掛けて行きます。稲を渡す人、ポーンと投げる人、キャッチしてはざに掛ける人。お互いの手元と動きに合わせていくと、最初は初対面のコンビでもだんだん息が合ってきて、名コンビになってくる。今年の稲は雨を含んで結構重たく、大変でしたが、最後に一面稲がかかったときの達成感。こぼれた稲を大切に拾って掛ける人、はざの周りを丁寧に掃除する人、みんなの気持ちがかもっています。どうかお日様、この稲を太陽の光でおいしく乾かしてくださいね。



【三人息を合わせた名コンビ】

## 10月23日 8年目の震災記念日

ジャンボ！  
持てるかしら？



今まで見守ってくたさってありがとうございます。これからも震災を忘れるずに頑張ります。



福島も一緒に  
がんばる  
負けないぞ！

粘り強く  
あきらめず...

中越地震から8年目の10月23日、震災復興に対する感謝と開店2周年を迎えた郷見庵のお祝いを兼ねて「郷見庵感謝祭」が行なわれました。

あいにくの雨でしたが、大勢の方においでいただき「つき立てのお餅の振舞い」「ジャンボカボチャの重さ当てクイズ」「お茶、新米、落花生の掴み取り」の賑やかな催しで、郷見庵を訪れたお客様に楽しんで頂きました。

毎年この日は、私たちにとって大事な節目の日。感謝と前進の気持ちを新たに、また来年のこの日まで、一步一步進んでいきたいと思います。



## 山古志ウオークおもてなし ～かき氷と日陰で一休み～



9月15日、山古志ウオーキングコース 22 キロの参加者 150 人の方々を、郷見庵で案山子と一緒におもてなししました。

今年は新企画にかき氷とポップコーンが登場。暑い残暑にピッタリで皆さんに喜んで頂きました。

【冷たいかき氷は大忙し】



【毎年案山子が見守ります】

また、郷見庵の屋根がちょうど良い日陰をつくり、これまたピッタリの休憩所を作ってくれました。木製の休憩所の後は小松倉の心臓破りの長い坂道が待っています。皆さん、ここで深呼吸して、無事にゴールまで歩き切ってくださいね。



【朝顔のカーテンで一休み】

## 雪割り草を植えました ～来春が楽しみです～



【夫婦けやきの根元に植えました】

10月7日、諏訪神社の鎮守の森に、元木籠住民の上田武司さんのご協力で雪割り草の苗植えを行いました。木籠集落の鎮守様、諏訪神社の境内にある大櫓（江戸初期から夫婦櫓と呼ばれる長岡市指定の天然記念物）の根元に50株以上の雪割り草（みすみ草）の苗が植えられ、この場所は4年前に建て替えた社の跡地ですので、来春雪解け後（5月中旬）、色とりどりの可憐な花が咲くよう神様が見守ってくれることと期待しております。

また、苗植えの後は5年前に植えた芝桜の花文字畑の草刈りを行いました。こちらも来年の6月初旬に『山古志コゴモ』の花文字浮かび上がること

と思います。

【芝桜の草刈り】

【雪割り草の苗】

【上田さんが以前植えた雪割り草（今年春！）】



## ふるさと会 蕎麦打ち ～一期一会に感謝～

11月23日（祝）毎年恒例となった蕎麦祭りを行いました。この日は朝から霧がけむる小雨まじりの日でしたが、集まった30人のパワーに押され、午後から雨はあがりました。

さて今年の蕎麦の作付けは猛暑の為不作で2回行いましたが、取れた量が少なかった為、勇五郎さんの畑で出来た実を仕入れての蕎麦打ちとなりました。一昨年までは素人だった「師匠」の手ほどきの元、「ワイルドだぜ～」とばかりに蕎麦粉と格闘して、きしめんや素麺や二股に分かれた個性溢れる蕎麦麺が完成。

一方、初めてこられた方々も多く、見事な包丁さばきや豊富な料理の知識で美味しい天ぷらを作ってください、ふるさと会のことを興味深く聞かれておられました。南相馬の被災者の方に頂いた赤い毛糸の帽子に想いを寄せて、一緒にの想いで蕎麦をいただいた方もおられます。

【きしめん、素麺、二股麺→】



その後、大根と人参の収穫をしました。まるまる太った大根には愛情と感謝がいっぱい。一年ぶりに新潟から木籠に来られ、集落と滑り落ちた山の土砂とせき止められた川を眺めながら、山を開いて高台へ移転した経緯を聞き、住民の心根の清らかさ、たくましさ感動。卿見庵の2階に美しいフラワーアレンジメントを飾っていただきました。

こうして新しく参加される方にとっては、私たちがふだん見慣れ聞きなれている木籠のことが新鮮に映ります。そのおかげさまで私たちは会発足の当初の「初心」に帰れることができます。これからも一期一会に感謝し、そこから得たものを初心の想いで恩返しと集落の絆の維持に繋げていきたいと思ひます。



## 恩返しと恩返しで、南相馬に♪花は咲く花は咲く♪

11月18日(日)今年も南相馬に、闘牛会、ふるさと会有志、小高町出身の榎さん夫妻20人で恩返しのお米を届けました。

伺った先は、昨年と同じ鹿島区小池長沼地域の仮設住宅(200世帯)で、今回は「天の風、浜街道号」をお披露目しました。この日は寒冷前線の影響で南相馬も風が強い寒い日でしたが、到着前から大勢の方が並んでおられました。

差し入れを用意して出迎えていただいた菅野さん、今井さん、宍戸さん東さんと再会し、固く手を握って笑顔そして涙、笑顔、……。挨拶の後、「浜街道号」が見守り、関さんの奥様、児玉さんの唄が流れる中、闘牛場で募った真心で購入した新米500kg(一袋2kg、山古志小学校の生徒の応援メッセージ入り)、ギョーザ400食、枝豆20kgグラムが励ましの言葉とともに、一人ひとりに手渡されました。加えて、初めて見る「天の風、浜街道号」(1200kg)に仮設の方々はただただ圧倒され、その恩返しの想いの大きさにうなずかれていました。仮設の子供たちもおっかなびっくり興味深々。元気な姿を見ることができました。

ともあれ、これからも中越地震で被災した私たちが元気な姿を、希望や夢や勇気を見失っている南相馬をはじめ、被災地の方々に見ていただくことが、なによりの「恩返し」であり、そこから絆と勇気と幸の花は咲き続けていくと信じます。



## ふるさと会 今後の予定

木籠では、もう雪が降り、冬支度。これから長い冬ごもりに入ろうとしています。しかし年が明け、新年の賽の神で皆さんにお会いできることを楽しみにしています。

### 木籠賽の神

平成25年1月13日(日)10:00頃～準備開始予定

お越しの際は、お車の運転にお気を付けておいで下さい。



## 平成25年度 こどもカレンダー



表紙「賽の神」

10月23日震災記念日に、来年度のごどもカレンダーを会員の皆様に送付させていただきました。郷見庵で好評発売中です。



11月「茜色に染まる時」



5月「阿吽の呼吸」

今回のごどもカレンダーはいかがだったでしょうか。毎年沢山の方々が木籠来てくださいます。皆様の思い出の1枚を、是非次回のごどもカレンダーに使わせていただけると幸いです。事務局までご連絡ください。

「山古志木籠 ふるさと会」：お問い合わせ、入会ご希望の方は、下記へご連絡ください。

■山古志 木籠ふるさと会 会長 松井治二 (FAX/電話) 0258-59-2180

■山古志木籠ふるさと会 事務局 担当：石井秀次 (Eメール) [cid85830@syd.odn.ne.jp](mailto:cid85830@syd.odn.ne.jp)

※活動の様子は、ホームページをご覧ください

山古志木籠ふるさと会 <http://yamakoshikogomo.com/>

